

2023年度

二チイキッズいま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月27日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添い、丁寧な保育の大切さを日々の保育や園内研修にて全職員が同じ姿勢での保育園作りに努めた。
子どもの発達援助	常に子どもが主体で一人ひとりの姿や発達を把握し、個々に応じてさりげなく援助し「自分で出来た達成感」を感じながら、次への意欲や自信へ繋がった。子ども達が安心して自分の思いや要求を表現できる関係を築くことを意識して関わっていた。
保護者に対する支援	連絡帳の活用、送迎時には担任を中心に対応を顔の見える関係性を重視して取り組んだ。覗き見保育参観を実施、保護者の意見を聞きとりながら、求められている支援に対して臨機応変に対応できた。引き続き日々のコミュニケーションの積み重ねを大事にし、子育てに対して支援を行っていきたい。
保育を支える組織的基盤	保育の質の向上を目指し、外部・内部研修の充実、定期的な職員会議やミーティングを実施。タイムリーに課題に対し改善策をチームとして建設的に検討し改善していく事が出来た。事案に応じて支部やスーパーバイザーと連携して取り組めた。

総評
<p>保育理念や保育方針を理解し、子どもが主体であり、子どもの最善の利益を常に念頭に安心安全、丁寧な保育を徹底した。子どもの気持ちに寄り添い、送迎時には様子を伝え、保護者のニーズを把握しながら継続して信頼関係を大事にしていきたい。</p> <p>園の課題に関しては、適宜振り返りの機会を設け全スタッフが当事者意識を持ち問題解決に向けて考えを出し合い、安全な保育に繋げていき、日頃からスタッフ間で声が掛け合える風通しの良い関係を築いていきたい。</p>